

ごめんなさい！ホーチミン市のことが好きになってしまった！

ヴ ティ トゥ タオ

(ベトナム・交換留学生・ホーチミン市師範大学)

私の出身地はベトナムのホーチミン市だ。生まれてきた時から、ずっとここに住んでいたの、外国人の視点からみれば、長所があるかもしれないが、私にとってまったくない。ホーチミン市は人が多くて、ラッシュアワーの時は何時間も全然動けなく、音もうるさくてならない。それで、できたら、海外に住んでみたいと思っていた。しかし、日本、特に和歌山に来て以来、ホーチミン市に対する考え方が少しずつ変わってきた。だんだん、自分の国の長所が見えるようになった。そういうことだからといって、和歌山の長所が見えない訳ではないがホーチミン市が好きになった理由がある。その理由は三つある。

(ホーチミン市のラッシュアワー)



(和歌山市のラッシュアワー！？)



その一つ目は雰囲気だ。和歌山県は面積が4726.08平方キロメートルであり、推計人口は2011年7月1日によると、995,135人だ。ホーチミン市は和歌山県ほど広くない。ホーチミン市の面積は2,095平方キロメートルしかないが人口は716万2,864人もいる。したがって、ホーチミン市の人口密度のほうが高い。人が多いのは交通機関も多いということで、渋滞も起こりやすいのは当たり前のことだろう。ホーチミン市では、最近、車を持っている人が多くなったが、今まで主な交通機関はバイクであったために、もともとあったバイク向けの交通設備では対応できていない。移動する時に本当に出かけるのがいやになるほど大変だし、バイクの煙を吸ったら体によくないのを知っているのに、マフラーをする人が少なくない。つまり、ホーチミン市は他の発展途上国のまちのように、渋滞が大問題だといえる。

それでも、ホーチミン市は、時間を問わず、いつもにぎやかであり、生き生きしている感じがする。逆に、和歌山市は人が少ないので、午後7時ぐらいになるとほとんどの店が閉まってしまう。正直、にぎやかなところから来た私には、和歌山市が静かなまちだと聞いていたので、

それを本当に楽しみにしていたが、怖いほどの静かさはちょっと安心できない。それに、この前、講演に来てくださったお巡りさんが和歌山の安全状況があまりよくないとおっしゃっていたので、もっと不安になった。もちろん、ホーチミン市が100%安全なところという訳ではないが、私の住んでいたところは安全だ。ホーチミン市より、和歌山市の設備のほうがいいが、やはり大切なのは雰囲気だ。

二つ目は特産物の多様性だ。和歌山県の一番有名な特産物はみかんとうめぼしだ。みかんといえば、有田みかんが一番甘い。それ以外はみそ、桃、しょうゆ、砂糖、海産物なども特産物として知られている。他の国のレストランもあるがほとんど中華レストランだから、多様性があまり感じられない。逆に、ホーチミン市は特産物がまったくない。地理的な位置がメコンデルタ (Mekong Delta) に面しているので、そちらの果物や海産物などが運ばれるからだ。さらに、ホーチミン市は国の経済の中心地として重視されているので、様々な国から来た外国人が多く、世界中のおいしい名物が食べられる。それだけでなく、ベトナムの各地の名産品も売っているので、時々、ホーチミン市はベトナムの小模型だと言われている。確かに、そこで作らないとその土地の特産物だといえないから、ホーチミン市の特産物だというより、ホーチミン市に集まる特産物のほうが正しいだろう。

(ホーチミン市の“特産物”)



(和歌山の特産物)



最後は、気候だ。確かに、和歌山は四季がはっきりしているし、時期によって自然の風景も違い、理想的な観光地だと思う。しかし、温度差があるので、住みやすいところだといえないだろう。気候は仕様がなかったことだと思うがホーチミン市と比べると、やはり、ホーチミン市のほうが好きだ。

以上がホーチミン市を好きになってしまった理由だ。和歌山市はいいところだと思う。ホーチミン市と比べると本当に長所が多い。けれども、私にとって十分ではない。実は和歌山のおかげで、出身地のことをちゃんと考え直し、見えないことが見えてきた。ありがたい。

それでも、ごめんなさい和歌山！